

第1学年 「美術科 シラバス」

教科の目標

- 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培う。
- 心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- 対象を深く観察する力や感性・想像力を高める。
- 豊かに発想し構想する態度を身につけ、基礎的技能を身につける。
- 多様な表現方法や造形要素に関心を持つとともに、創意工夫し美しく表現する力を育てる。

評価の観点・方法

1. 知識・技能

表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。

下絵・作品

2. 思考・判断・表現

感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。

鑑賞・アイデアスケッチ・制作カード

3. 主体的に学習に取り組む態度

主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。

鑑賞・授業態度・発言・提出物・準備

特色のある学習方法

- 美術に親しみ、愛好するための環境で、気軽に表現できるようにする。
- 表現することが楽しく、よりよいものを良いと互いに認め合う場の設定。
- スケッチすることから始め、生涯に渡って美術を愛好する意欲付けに重点を置く。
- 主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わう。
- 他の作品のよさに気づき、感じる力を伸ばす。

年間の学習とねらい

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	・美術との出会い (オリエンテーション)	・美術の意味を再認識させ、美術的な活動への興味、関心、意欲を高めさせる。
	・絵本「スイミー」 レオ・レオーニ (鑑賞)	・言葉では表すことができないもの、いろいろな考えや思いや役割を絵本を通して学ぶ。
	・鉛筆デッサンの練習 (絵)	・鉛筆のタッチや陰影で対象を描くことにを体験する。
二 学 期	・体育館シューズを描く (絵)	・これから使う体育館シューズへの気持ちを表現する。 ・対象を丁寧に「見る」「観察する」ことで、これまで気づかなかった発見や物を大切にすることの気持ち、体育館シューズを大切にすることの気持ちを養い、自分らしい表現力を体験し身につける。
	・心ひかれる風景 (鑑賞)	・単に物を観察するだけでなく、自分の心で見た感動も表現していることも理解する。
	・漢字アート (デザイン)	・情報を伝える文字に関心を持ち、レタリングやデザイン、色の効果を楽しみ、生活に活かす工夫を体験する。 ・色の性質や分類について基礎的な知識を学習し、配色などの応用力をつける。 ・色が、私たちの感覚や感情に及ぼす影響を体験し理解する。
三 学 期	・浮世絵とジャポニズ (鑑賞)	・日本文化の素晴らしさを伝える。
	・彫刻動物園 粘土制作 (彫)	・材料の生かし方や加工の方法、用具の扱い方などの技術を習得できるようにする。 ・形や色を工夫し表現する。 ・自由に主題を発想し独自のイメージを追及できるようにする。

第2学年 「美術科 シラバス」

教科の目標

年間の学習とねらい

- 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深める。
- 心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- 対象を深く見つめる力を一層高め、感性・想像力を一層高める。
- 独創的・総合的な見方考え方を培う。
- 豊かな発想や構想する能力を伸ばし、表現方法を創意工夫する。
- 創造的に表現する能力を伸ばす。
- 自然、美術作品、文化遺産などについての理解や見方を深める。
- 良さや美しさを感じ取り、味わう鑑賞の能力を高める。

評価の観点・方法

4. 知識・技能
表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。
下絵・作品
5. 思考・判断・表現
感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。
鑑賞・アイデアスケッチ・制作カード
6. 主体的に学習に取り組む態度
主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。
鑑賞・授業態度・発言・提出物・準備

特色のある学習方法

- 美術に親しみ、愛好するための環境で、気軽に表現できるようにする。
- 表現することが楽しく、よりよいものを良いと互いに認め合う場の設定。
- スケッチすることから始め、生涯に渡って美術を愛好する意欲付けに重点を置く。
- 主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わう。
- 他の作品のよさに気づき、感じる力を伸ばす。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の美術 ・ルネッサンスが求めたもの（鑑賞） ・自画像～自分と向き合う～ (絵) 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の意味を再認識させ、美術的な活動への興味、関心、意欲を高めさせる。 ・時代背景や美術文化の継承と創造について考える。 ・自分の外見、内面を深くみつめ、今の気持ちや考えていることを表現することに関心を持ち、自己表現が自己肯定につながる経験をする。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・体験できるデジタルアート（鑑賞） ・木彫手鏡（工芸） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスとアートの融合のデジタルアートをチームラボから学ぶ。 ・一枚の板材から多様な作品ができることを理解し、使用する人の立場や用途に応じた機能美のある作品を発想する。 ・木材を有効に使い、用具を活用し、木目や木の肌さわりを生かす工夫をする。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かにデザインタンブラー(デ) ・「ゲルニカ」ピカソ (鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に使用する物のデザインに関心を持ち、生活を豊かにするデザインを考える。 ・ピカソの描いた「ゲルニカ」がどのような時代背景や理由で描かれたのかを学ぶ。

第3学年 「美術科 シラバス」

教科の目標

年間の学習とねらい

- 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深める。
- 心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- 対象を深く見つめる力を一層高め、感性や想像力を一層高める。
- 独創的・総合的な見方、考え方を培う
- 豊かな発想や構想する能力を伸ばし表現方法を創意工夫する。
- 創造的に表現する能力を伸ばす。
- 自然、美術作品、文化遺産などについての理解や見方を深める。
- 良さや美しさを感じ取り、味わう鑑賞の能力を高める。

評価の観点・方法

7. 知識・技能
表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。
下絵・作品
8. 思考・判断・表現
感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。
鑑賞・アイデアスケッチ・制作カード
9. 主体的に学習に取り組む態度
主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。
鑑賞・授業態度・発言・提出物・準備

特色のある学習方法

- 美術に親しみ、愛好するための環境で、気軽に表現できるようにする。
- 表現することが楽しく、よりよいものを良いと互いに認め合う場の設定。
- スケッチすることから始め、生涯に渡って美術を愛好する意欲付けに重点を置く。
- 主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わう。
- 他の作品のよさに気づき、感じる力を伸ばす。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな出会いをもとめて 現代美術の心 (鑑賞) ・心の中の世界を表そう (絵) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に込められた作者の意図や信条を表現技法や素材の生かし方などから素直に感じとらせる。 ・感性や想像力を働かせて、自分の制作したいイメージにあった方法を選択できるようにさせる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・環境をデザインする。 アントニ・ガウディ (鑑賞) ・立体造形として表そう BOX ART (彫) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産のサグラダファミリア教会堂を始めとするガウディの作品群に関心を持つ。 ・目的にあった構造とデザインを考えさせ、アイデアから完成まで計画的に制作できる力を養う。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・点描アート (絵) ・現代美術 (鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術を通して、集中することの素晴らしさを体感する。 ・現代美術に興味をもち作者の心情や考えを理解しようとする。